

事 務 連 絡
令和 7 年 3 月 18 日

都道府県下水道担当課長	殿
政令指定都市下水道担当部長 (上記、各地方整備局等経由)	殿
市町村下水道担当部長・課長 (上記、各都道府県経由)	殿
日本下水道事業団事業調整課長	殿
都市再生機構下水道担当課長	殿

国 土 交 通 省 水 管 理 ・ 国 土 保 全 局
下水道事業課事業マネジメント推進室課長補佐

下水道工事における安全対策の徹底（その５の２）について (令和 7 年 2 月 13 日福岡県太宰府市発注の工事に伴う死亡事故)

本年 2 月 13 日、福岡県太宰府市発注の下水道本管から個人敷地内に下水道管を引き込む取付管設置工事において、設置していた土留め矢板を一部外して掘削穴の中で作業をしていたところ、土留め矢板を外した箇所から土砂が崩落し作業員 1 名が肩あたりまで生き埋めとなり救急搬送されましたが、死亡するという事故が発生しました。事故原因等を確認した結果、以下の点について安全対策の不備がありました。

・掘削深 1.5m を超える深さであったにもかかわらず、バックホウでの掘削作業にて腹起し・切梁の一部が支障となったため土留め矢板の一部を外していた。そのような現場条件において、ガス管等を損傷させる恐れがあったことから人力で掘削穴の中で作業を行ったこと。

事故原因等を受けまして、別紙のと通りの再発防止策を行うこととされました。各下水道管理者におかれましては、引き続き工事現場へのパトロールを通じ、施工計画書等に基づく作業手順とお通りの施工や安全管理の徹底を確認するとともに、当該再発防止策も参考として安全管理に対する指導を再度徹底することで受注者の安全意識の醸成を図り、事故の未然防止に努めていただくようお願いします

事故発生状況と再発防止策 (R7.2.13 福岡県太宰府市)

別紙

【事故発生状況】

公共下水道管から個人敷地内に下水道管を引き込む取付管設置工事において、設置していた土留め矢板を一部外して掘削穴の中で作業をしていたところ、土留め矢板を外した箇所から土砂が崩落し作業員1名が肩あたりまで生き埋めとなった。

その後、救急搬送されたが、死亡が確認された。

【事故発生原因】

掘削深1.5mを超える深さであったにもかかわらず、バックホウでの掘削作業にて腹起し・切梁の一部が支障となったため土留め矢板の一部を外していた。そのような現場状況において、ガスパ等を損傷させる恐れがあったことから人力で掘削穴の中で作業を行ったこと。

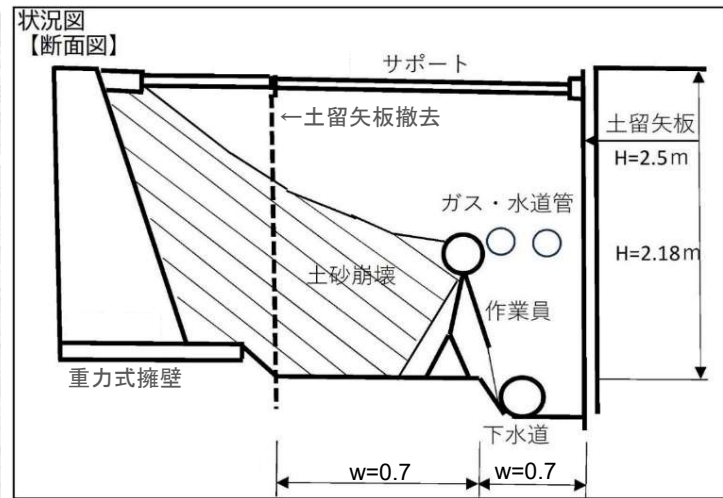
【再発防止策】

- ・ 1.5mを超える深さの掘削作業を行う時は、必ず土留め支保工を設置したのちに掘削作業を行う。
- ・ 作業中は監視員を配置し安全作業に万全を期する。
- ・ 作業に支障するためやむを得ず土留め支保工の撤去を行う場合は、発注者と協議のうえ、掘削面の安全勾配を確保する等、適切な施工を行う。
- ・ 安全作業の周知徹底を行う。
- ・ 地山の掘削作業主任者等が、地山が弱いと判断した場合は、掘削深さにかかわらず、直ちに仮止めなどの適切な事前対策を行う。
- ・ 発注者においては、基準に基づく土留め支保工の設置徹底等、安全な施工を指導する。

【平面図】



【状況図】



【状況写真】

